

1	茂木町	本郷		長いこと空を眺めていたら雨が降り出して、よく見たら黒くスミのような雨が、口をあぐりあけていたので、雨が口に入ったのをよく覚えている。
2	茂木町	田手原名		黒い雨が降っていると言われたので、私も防空壕の入り口で黒い雨を見ました。雨がポツポツと降り、長崎の空は赤々としていた。
3	茂木町	河内郷		しばらくして外に出ると、木の葉と一緒に小石まぎりの雨のようなものが降ってきた。
4	茂木町	飯香浦郷		姉の話だと午後になって黒い雨の様なものがポトポト降って来て、カンテン草、フ、色紙、木ぎれ等が沢山灰と一緒に飛んできたという。
5	茂木町	本郷		防空壕より自宅へ帰った後、夕焼けのような空から黒い雨が降った。
6	茂木町	北浦名		爆風で飛ばされた時に地面に伏せていて、顔を上げていっときしたら黒い雨が降ってきたようでした。
7	茂木町	本郷	河内	兄さんたちが、母親が背中に背負ってビワ山の小屋に逃げた、そのあとに黒い雨が降ったよと話していました。
8	茂木町	太田尾名	南方向の海岸	午後1時過ぎ頃と思いますけど、雨が降って来ました。私は石運びをして、気づくと黒い雨でした。手も汚れ、来ていたシャツも黒く汚れました。予科練生の方が広島に落ちた新型爆弾の時も黒い雨が降ったそうだよ、同じ黒い雨は長崎も一緒だと知らせてくれました。
9	茂木町	飯香浦郷	こしき岩の下	長崎の方を見たら、キノコ雲が出て、自分の頭上の空も今まで見たことのない真っ黒な空になっていた。そして灰と紙、雨も降ってきた。
10	茂木町	飯香浦郷		家の前には竹やぶがあり、その竹が一瞬のうちになぎ倒されたようになったそうです。それから黒い雨が降って来たそうです。
11	日見村	宿名	今の水族館の田	しばらくすると空は黒く曇り、太陽は真っ赤になり、ちらちら雨が降り落ちてくる。雨は身体に付くと黒く汚れていた。
12	日見村		日見小学校	晴天であったが投下後しばらくして原子雲が浮き上がり、少量であったが雨が降ってきたのを覚えている。
13	日見村	宿名		暫くすると、黒っぽい雨が降り、太陽が曇って夕日の様でした。
14	日見村	網場の海		日見トンネルの方向より燃えカス等がどんどん飛んできた記憶がある。雨も降った。
15	日見村	網場名		帰宅途中やがて油のような黒い雨が降って来て、白いシャツに黒い斑点を作った。
16	日見村	網場名	字岡	大人たちから防空壕にいるよう指示があり、そのうち雨（真っ黒い雨）が降ってきたような記憶が残っています。
17	日見村	網場名		午後4時と思います。飛んでいた落下傘も戸石方面の山々の中に消えた様です。その時刻、時おり霧雨（黒い雨）がちらつきました。
18	日見村	網場名		外で遊んでいたら黒い雨が降ってきた。
19	日見村	網場名	493-2軍需工場	黒い燃えた後のゴミみたいな物がいっぱい落ちて来ました。雨も降りました。
20	矢上村	町名		数時間後、茶色の砂塵が屋根につもり、黒っぽい雨がパラパラと降ってきた。
21	矢上村	瀬古名		空の色は柿色いっぱいでした。後で暗くなったような気がします。雨も降った様でした。
22	矢上村	東名		午後になって雨が降ったようだ。防空壕を出てみると、サツマイモの葉に黄色い砂が積もっていた。
23	矢上村	平間名		太陽が真赤になり、恐ろしくなり、又、雨も降って来ました。
24	矢上村	町名		雨（黒い雨）がひどく降った。
25	矢上村	間の瀬	新田頭	紙切れのような物が降ってきたような記憶があります。姉や兄達に聞くと、雨も降ったそうです。

26	矢上村	間の瀬		しばらくしたら、黒い空になり雨とともにゴミのような紙切れ等が飛んできました。もう恐ろしくて恐ろしくて大きな声でお母さんと呼んでいた。
27	矢上村	平間名		しばらくして黒い灰の様な物が降って来たそうです。それから少し雨が降ったそうです。
28	矢上村	平間名		三山の上空で3つのパラシュートが飛び出しました。そのうちの1つが爆発したのです。一瞬目はくらみ見えなくなりました。その後15分位してからどしゃ降りの雨が10分位だったと思いますが降りました。
29	矢上村	平間名		びっくりして母と二人ですぐ家に帰ったら黒い雨が降った。しばらくするとお金が空から降ってきた。10銭、50銭紙幣がほこり（灰）と同時に降ってきた。雨も夕立のようにサーッと降って、しばらくすると止んだ。
30	矢上村	平間名		暫くして紙の燃えがらが西側になる長崎市内から一面に飛んできました。更に黒い雨も降って来たのでおじいちゃんから早く家の中のように叱られたのであわてて逃げ込んだ
31	矢上村	間の瀬		大きい木の下に隠れていたら、空が真っ黒になり、何か白い物とか黒い物が空から降って来て、それから雨が降って来たので恐ろしくなり、急いで家に帰ったそうです。
32	矢上村	平間名		浦上方面より火災の燃えカスや灰の様な埃が飛んで来て頭や顔を汚した。後で父親から黒い雨の様な物が降ったと聞かされた。
33	矢上村	町名		雨が外に立って見ていましたのでパラッと降って来ました。大粒の黒い雨でした。洋服が黒く濡れていたもので着替えました。
34	矢上村	間の瀬		一瞬電流が背中に走り、黒い雨が降り、庭に面したガラス・障子は割れ、襖は家の奥へと飛んでいったそうです。姉は友達と庭で遊んで、頭が真っ黒になったと聞いた。
35	矢上村	町名		黒い雨（大粒のパラパラ）が降って来て、母はその時濡れてすぐ着替えたそうだ。
36	矢上村			長崎の方を見たらゴミが飛んできました。茶色の雨が降った。
37	矢上村			1時間くらいたったのでしょうか、空からぼつぼつと黒い雨が私たちの頭上に降って来たのです。いきなりの雨に母も私も何も体を覆う物もなく、ただただ家路を急ぐだけでした。
38	矢上村	間の瀬		まもなく黒い雨と黒い灰が同時に信じられないほど空から降って来た。（39と同地点）
39	矢上村	間の瀬		まもなく黒い雨と黒い灰が同時に信じられないほど空から降って来た。（38と同地点）
40	矢上村	間の瀬		私は直後、空を見たら黒い雨と黒い灰が降って来た。紙くずもあった。
41	矢上村	田中名	矢次郎 神社	中尾岳の空は真っ赤にやけ、燃え上がる炎を見た時です、燃えた紙屑や灰などが飛んで来て、みるみる灰の町になったのを見ていた時、今度は黒い雨が降って来た
42	矢上村	田中名	神社	中尾岳の空は真っ赤になり、燃えた紙くずがヒラヒラと降って、黒い雨も降って来たので、恐ろしくてとにかく家に走って帰った。
43	矢上村	間の瀬		燃えカス混じりの様な真っ黒い灰と燃えカスの紙屑がばらばらと落ちてきたり、太陽が真っ赤に燃えているようになりました。一瞬の間黒い雨も降ったと、父母、兄姉から聞いております。
44	矢上村	平野名		空は真っ黒で真上に赤い爆弾みたいなものが見え、空中にはお金とか紙とかいろんな物が飛び交い、南瓜の葉には砂の雨が積もり始めたので、あわてて三人で家の側の防空壕に逃げ込んだ。

45	矢上村	平間名	新田頭	間もなく空が赤暗くなってきて、赤黒い煙がもくもくと上がり、黒い雨や灰が降って来た。
46	矢上村	間の瀬		時間的にどの位後かよく覚えていないが、その日雨が降った。ずっと後になって年寄りたちがその時降った雨は灰で汚れて黒かったと話していた。
47	矢上村	平野名		空は暗くなり黒い雨が降って来た。それからというものは爆風により空から紙屑やゴミが飛んでくる飛んでくる、ものすごかった。
48	矢上村	田中名		空が黒い雲におおわれ、暗くなりあまりにも恐ろしくなり、急いで家に帰る途中、黒い灰や焼け残りの書類等いろんな物が風に流されて飛んで降って来た。それにまた雨まで降って来たので雨に濡れて家に帰った。
49	矢上村	間の瀬		長崎の空が煙でもくもくと上がり、太陽が真っ赤になり、梅干しみたいになりました。するとまもなく黒い雨と黒い灰が同時に空から降って来たのです。
50	矢上村	東名		しばらくし、紙切れ等が飛んでき、暗くなり、雨が降り始めた。
51	矢上村	田中名		何日か経って黒い雨が降って恐かったことを覚えている。
52	矢上村	東名		真昼というのに太陽は夕日のように赤く染まっていた。その後雨が降って来た。濡れた服を着替えたのを覚えている。
53	矢上村		今の材木市場	太陽は真っ赤にふらふら揺れ、空は真っ黒、暗くなるし雨も降り出し、紙屑類は飛んでくるし、恐かった。
54	矢上村	間の瀬		空は暗くなって来て、お日様は真っ赤に焼けてまもなく雨が降って来ました。やがて長崎の方からいろいろな物が飛んできました。
55	矢上村	平間名		周囲がだんだんとうす暗くなり、太陽を見ても赤く見えるだけでまぶしくありませんでした。それから空をみていると紙の燃えカスや灰の様な粉など降り出し、その後激しい雨、風になったことを今も覚えております。
56	矢上村	平間名		慌てて外へ飛び出してみると、それまで晴天で明るかった空がおぼろ月のようになっていました。その後、黒い雨が降り出し、燃えかけの紙くずの様な物が雪のように降って来ました。
57	矢上村	平間名	間の瀬/滝の観音	日輪もぼんやりうす暗い空からポツポツと降って来た雨を避けて玄関の軒下に集まっていた。その目の前を三菱の人たちが白いワイシャツの肩や背中に黒い雨のシミをポツポツと付け、目を引きつらせ無言で行き来していた姿を忘れない。私はその雨を爆風で空高く舞い上がった焼け跡の灰を含んだ雨と思っていた。
58	矢上村	平野名	土手(開墾中)	紙切れや燃えた灰がたくさん降って来ました。とにかく早く山の方へ行こうと言われて山へ行く途中、空が真っ暗くなって大雨が降って来て、みんなびしょ濡れになって山へ行き、弁当を食べて雨が止むのを待って帰りました。
59	矢上村	柿道		もう忘れましたが、何日か経ってから真っ黒い雨が降りました。
60	矢上村	柿道		山に松脂を一人で取りに行つて、黒い雨の様な物が降って来ました。とっても恐ろしかった。
61	矢上村	東名	宇長龍寺の畑	焼けこげた新聞紙の様な物がヒラヒラ落ちてきた。誰かがお金も落ちてくるかもしれないと言ったので拾って回った。よごれた雨も降って来た。
62	戸石村	里名		灰や紙くずが飛んで来ました。その後、黒い雨が降って来ました。
63	戸石村	上戸石名		午後2時頃灰と紙くずが飛んで来ました。その後、黒い雨が降って来ました。
64	戸石村	上戸石名	水の落口	一番高い山で松の油を取っていました。その時、光や音、真っ黒い雨が降ってびっくりして、のどが渴いたので水を飲んで下へ下へと降りてきた。
65	戸石村	里名		長崎の方からは紙くずや真っ黒になった燃えカスや真っ黒な雨が降って来て、辺りは真昼だったのですが、まるで夕方の様でした。
66	戸石村	岡名	戸石防空監視所	長崎上空、飯盛上空へと真っ黒く夜の様な空模様になり、にわか雨が降った。周囲はあらゆる植物の葉に灰色の雪でも降ったかのような景色に変化した。

67	牧島村			またたく間に東長崎の上空一帯は真っ黒となり、太陽の姿も隠れていた。にわか雨の様な通り雨が降り、その後、茶色に変色して太陽の姿が火の玉でも落ちてくるかのように感じたと同時にものすごい灰を浴びたのを覚えている。
68	古賀村	木場名		周囲が夜のように暗くなり、雨が降った
69	古賀村	木場名		午後2時頃、黒っぽい雨も少し降ったようでした。
70	古賀村	木場名		ベタベタした雨が降って来ました。おじが「木の下にかがめ」と言ったので近くの柿の木の下に行きました。
71	矢上村		今の支所の道隣	真っ赤な光（太陽）と空はどす黒くなり、黒い雨が降り、燃えカス、紙片などが飛んで来ました。恐ろしくなり、自分の家へ向かい帰りました。
72	古賀村	木場名		爆風で障子がガタガタと揺れて30分～1時間後に外が暗くなり、外に出てみると、今思うと太陽が火玉のようで黒い雨が少し降ったようで、その後、紙の燃えた灰が落ちたようでした。
73	古賀村	松原名	上床	午後からは雨が降り続き、その中を私に会うために父が歩いて上って来ました。
74	古賀村	松原名		外に出たら空は真っ黒くなり、雨が降り出した。しばらくすると西空に入道雲のようなものがもくもくと上がっていた。
75	古賀村	木場名		辺りは夜のように暗くなり、公民館より帰る途中の兄の頭の上に雨が小々降ったそうです。その時太陽が真っ赤になり、俗にいう火の玉のように見えたと言います。
76	古賀村	中里名	国道→ 船石の道	解除になり、防空壕より出てみたら黒い雨が降りました。
77	古賀村	船石	千束野ク ラブ	外へ出ますと、黒い雲の様な形がモクモクと立ち浮かんでいて、辺りは暗くなって来て、雨もパラパラと降って濡れて帰りました。
78	古賀村	松原名		しばらくして空から雪のように灰が降って来て、屋根や草木の葉に積もった。又お金の燃えカスや新聞、雑誌等の燃えカスが降って来た。又、黒い雨が降って来た。
79	古賀村	中里名		空は曇ってしまって、黒色の小雨の様なものが顔に当たり、やがて紙等の燃えた灰が大量に舞い降りて来た。
80	古賀村			霧雨のような雨が降り、手ぬぐいに黒い点がつき、驚いた。
81	古賀村	中里名	田んぼ	目と鼻をふさぎ、草むらに身を伏せたら大粒の黒い雨が降って来たので、山の中に逃げ込んだら、山の中に名前も分からない通りがかりの中年のおじさんがいた。そのおじさんと数十分山の中にいた。
82	古賀村	中里名		長崎市の上空が黒くなり、空から黒い雨白い雨が降って来て、柿の葉に黒く積もりました。
83	古賀村	向名		しばらくすると空は昼過ぎというのに暗くなりだし、お日様が月を赤くしたように見えだしました。その後、雨が降り出し空からちりのようなものが雨と一緒に舞い降りて来ました。
84	古賀村	松原名	上床	お昼に家族の者が畑から帰って来て、飛んで来た紙切れを見て、長崎の方じゃなからうかと言っておりました、大粒の黒い雨もポトポトと落ちて来ました。
85	古賀村	松原名		爆風が吹いて二人共に倒された。しばらくして空が真っ暗くなり、大粒の黒い雨が降って来たので家に帰った。
86	古賀村	中里名	中野1425 芋畑	長崎方面を見ると空が真っ黒い雲で覆われ、次第に赤黒くなり、私たちのいるイモ畑の真上まで赤黒くなり、そのうちに雨が降り出してきた。雨はしばらくして止んだ
87	古賀村	向名		少ししてから飛行機の行ったところを見ていたら、丸い雲ができ、中は赤くだんだん雲が広がり、雨も少し降って来ました。

88	古賀村	中里名	下郷	何が起こったのか分からず、顔を上げ空（西の方）を見ると入道雲の様なのがモクモクと上がっていたのを鮮明に覚えています。その後、太陽が真っ黒く見えました。皆帰りだしたので、私も家に帰りました。帰る途中に真っ暗くなり、雨が降り出しました。
89	古賀村	向名		西の長崎上空を見ると、雲が空一面を覆い、真っ黒になった。そのうち、パラパラと真っ黒い雨と燃えカスみたいのが降って来たので、近所にあった防空壕に避難した。
90	古賀村	向名		空は曇り、太陽は真っ赤で丸く、雨も落ちた。
91	古賀村	中里名	四手山 西の山	空はだんだんと雲と煙に覆われて暗くなった。雨も降った。
92	古賀村	木場名	中河内ク ラブ	矢上方面の山野谷間から黒い入道雲がもくもくと上がり一瞬のうちに空がうす暗くなったと思うや焼けた紙が空一面にヒラヒラと舞うや、その時雨粒が降って来た。
93	古賀村	中里名	裏山	キノコ雲を見たり、灰が飛んできたり、黒い雨が降ったりしました。
94	古賀村	木場名	中川内青 年クラブ 今の集会 所	白いラッカサンが私たちのいる所の上空にフワリフワリと飛んで来て田結の方へ行った。当地の消防団の方がアメリカ人がラッカサンから降りて来るぞと言って前の道を行かれたのを覚えている。そして私たちは家に帰った。途中で雨が降って来た。
95	古賀村	木場名	中河内ク ラブ	家に帰る途中雨も降った。
96	古賀村	木場名	中河内青 年クラブ	北西部の方に大きな煙の玉が上がり、やがて曇って薄暗くなり、大粒の雨が少し降りました。
97	古賀村	向名		落下傘がふわふわと落ちながら東の方へ飛んで行きました。急に曇空になり、大粒の雨が少し降りましたが、やがてもとの青空になりました。
98	古賀村	松原名	墓所	西の方の空は真っ黒に煙が拡がり、大空より、黒い雨や黒い雪みたいな（大橋兵器の書類）焼け残りや、真っ黒に焼けた灰がヒラヒラと西の方より空が暗くなるように舞い降りて来ました。
99	古賀村	中里名		黒い雨も降りました。（100と同地点）
100	古賀村	中里名		黒い雨も降りました。（99と同地点）
101	古賀村	松原名		空の太陽は真っ赤になり、雨のような物、焦げた紙切れなど降って来た。
102	古賀村	松原名		燃えカスや紙切れがたくさん飛んで来て、雨が降り、太陽が原爆雲で真っ赤に見えた。
103	古賀村	木場名	字上座	頭にかぶっていた手ぬぐいがしっとりするほど、小雨もありました。
104	古賀村	九重里	神社	長崎の方がピカリと光り、真っ黒い空になって、太陽が真っ赤になり、爆風が大きい木を倒すみたいになり、着物の燃えカスや、地図などが飛んで来て、黒い雨が降って来た。
105	古賀村	向名		午後は赤い太陽で恐かった。紙屑の灰が落ちて来たので拾って遊んだ。夕方は黒い雨が降り出した。
106	古賀村	松原名		しばらくすると辺り一面にノート、本、紙幣、等々燃えかけの紙片が落ちて来た。その数時間後に真っ黒い雨が降って来た。
107	古賀村	向名	古賀国民 学校	夕方小雨の降った記憶がある。
108	古賀村	中里名		閃光が走り、空が真っ暗になった後、黒い雨が降ったことも覚えています。
109	古賀村	松原名	上床	雨が降って来て空が真っ黒になりました。黒い雨と灰が飛んで来て、今まで経験した事のない爆弾が落ちたのを感じました。

110	古賀村	松原名		防空壕から出てみたら、空が真っ黒になり、灰が降り、雨も降って大変だったそうです。
111	式見村	田舎郷		キノコ雲が見え、少ししたら空が真っ黒になりました。雨が降り出し、ビラが落ちて来ました。
112	三重村		三重浜の沖	光を感じ、自分のすぐそばに爆弾が落ちたと思った。その後黒い雨が降り、雨にも濡れた。
113	三重村			逃げる時に黒い雨が降って来た。
114	深堀村		本町	夜は長崎の空が真っ赤に燃え上がり、その後も2日くらいは夜になると見えていました。雨も降りました。
115	村松村			家の前の谷門を爆風の雨が降りました。
116	伊木力村	野川内郷		空を見上げたら黒い雲がモクモク上がり、しばらくして黒い雨が降ったので、家の中に隠れた。
117	伊木力村	舟津郷		長崎の方を見ると赤黒い雲がモクモクと立っていました。まもなく黒い雲が広がり、夕方のように暗くなり、雨がぼつんぼつんと降って来ました。
118	伊木力村	舟津郷		空が夕方のように黒くなってきたかと思うと、空から雨がパラパラ降り、灰も降ってきたように思う。
119	喜々津村	市布名		外に干していた兄の白いランニングシャツに降灰と少量の黒い雨が降り、黒い斑点が残っていた。洗濯後、着用した。
120	喜々津村	中里名	今の河川道路	翌日以後、降雨は黒かった。
121	大草村	西園名		雨や灰が降り、上半身裸で濡れました。長くは降らなかった。
122	喜々津村	西川内	源八山	空が暗くなり、雨が降って、皆走って家に帰った。白いシミーズを着ていたのに、黒い雨の跡が一面に付いていた。
123	伊木力村	佐瀬郷		姉が夕方来ましたが、雨が少々降ったそうです。
124	喜々津村	市布名	大草駅で下車	何分かしてから紙の燃えた灰がまるで黒い綿雪のように西方から降って来た（多量に）その後、大粒の雨が少量降って来た。
125	伊木力村	野川内郷		厚い雲がかかってき、外も家の中も真っ暗になり、アラレの様なものがバラバラと降って来ました。
126	伊木力村	野川内郷		厚い雲が出、外が真っ暗になり（夜みたいな状態）アラレみたいなものがバラバラと落ちて来ました。
127	田結村	池下名		外に出て長崎の方を見たら、焼けた紙屑や落下傘や黒い雨や灰が降って、西の方から東の方に飛んで来ました。（128と同地点）
128	田結村	池下名		外に出て長崎の方を見たら、焼けた紙屑や落下傘や黒い雨や灰が降って、西の方から東の方に飛んで来ました。（129と同地点）
129	大草村	元釜名		裏山の空が赤々と焼け間も無く一変し、黒雲が垂れ下がり、黒く焼け焦げた紙屑みたいなものが小粒の水滴と一緒にバラバラと落ち始めたのです。